

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



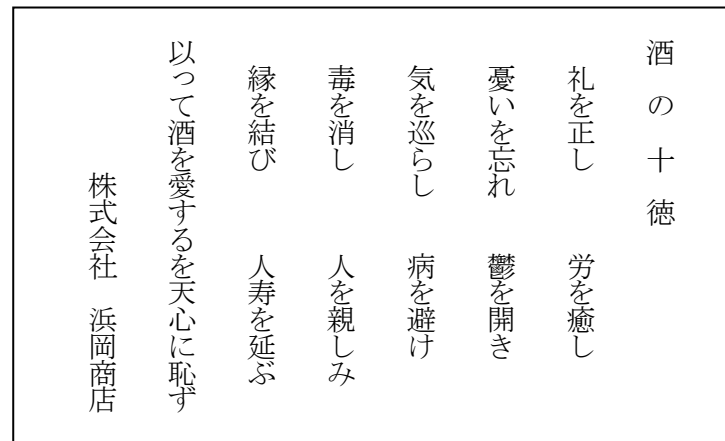
平成 21年 7月 17日  
全国卸売酒販組合中央会  
酒類ガイドライン遵守推進本部

## 「愛する酒」

委員 濱岡 弘道

私の家は、戦前から戦後の一時期まで酒造業を営んでおりましたが、戦後のある時から卸問屋に変わりました。

大学を出て銀行員をした後、当社に入りました。  
当時社長である父の部屋に酒の十徳という額がありました。



この一文により、人々を喜ばせることに携わる大変すばらしい仕事についてと思いました。

一方、現在の社会では、酒の上でのトラブル（交通事故・青少年の飲酒・飲みすぎによる体調不良・お酒の上での争い等々）がマスコミを賑わしています。

お酒が社会に及ぼす影響は大変なもので、善にも悪にもなるのもだと思った次第です。

その為にもお酒を扱っている私達は、社会に対して重大なる責務を持っているのだと確信しました。

小売店が地域の世話人をしたり、若者に説教をしていた15～16年前が何十年も前のようで、その光景が懐かしい。

現在、酒類販売業界を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。特に、他の業種から入ってきた人達は、業界の有様など一顧だにしてなく、薬屋さんにいたっては目玉商品と位置づけて、採算が合わなくてもお客が来てくれればそれでいい、誰にでも売るなど体調が悪くなれば薬が売れると言わんばかりです。

他の業種から入って来られた人達は、儲かればそれだけでいいという成果主義の一点張りで、そこには社会に対する道徳も何もあったものではありません。

もう一度原点に戻って、お酒という社会に対して大変重要な品物を扱っているのだから、安く売って何が悪いという考えでなく、社会道徳に沿った健康な社会を作っていくという心構えが必要である。

## ○ 平成21年6月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

期間 区分	6月			1～6月		
	当月数量	前年数量	前年比	本年数量	前年数量	前年比
ビール	297,378	296,063	100.4	1,349,727	1,428,134	94.5
発泡酒	117,454	124,387	94.4	599,763	687,124	87.3
小計	414,832	420,450	98.7	1,949,490	2,115,258	92.2
新ジャンル	173,374	133,687	129.7	800,813	628,515	127.4
計	588,206	554,137	106.1	2,750,303	2,743,773	100.2